

様式第9（第5条関係）

（その1）



3年11月30日

新城市議会議長

氏名 滝川健司
（会派にあつては、名称及び代表者氏名）

令和3年度政務活動費収支報告について

新城市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和3年度政務活動費収支報告書

氏名 滝川 健司

1 取 入

政務活動費 100,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	69,690	市町村議会議員特別セミナー(受講料・旅費)他
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	6,481	コピー機リース料、コピー代
資 料 購 入 費	0	
合 計	76,171	

3 残 額

23,829 円

(注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

令和3年度政務活動研修費明細

滝川健司

『研修費』			69,690 円
○全国市町村国際文化研修所 令和3年4月15日～16日 令和3年度第1回市町村議会議員特別セミナー 上記研修会の交通費等として			
乗車券（茶臼山⇔唐崎）	15,820 円	9,020+6,800	
研修参加費	6,900 円	13,800÷2	
振込手数料	220 円	440÷2	
小計	22,940 円		
○全国市町村国際文化研修所 令和3年4月22日～23日 令和3年度市町村議会議員研修 第1回「防災と議員の役割」 上記研修会の交通費等として			
乗車券（茶臼山⇔唐崎）	15,820 円	9,020+6,800	
研修参加費	7,550 円	15,100÷2	
振込手数料	220 円	440÷2	
小計	23,590 円		
○全国市町村国際文化研修所 令和3年7月20日～21日 令和3年度第2回市町村議会議員特別セミナー 上記研修会の交通費等として			
乗車券（茶臼山⇔唐崎）	15,820 円	9,020+6,800	
研修参加費	6,900 円		
振込手数料	440 円		
小計	23,160 円		

研修報告書

令和3年5月30日

新城市議会議長 様

滝川健司



以下、研修に参加しましたので報告致します。

1. 研修日 令和3年4月15日(木)～16日(金)
2. 研修場所 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号)
3. 研修内容 令和3年度「第1回市町村議会議員特別セミナー」
日程及び詳細は別紙による
4. 派遣員 滝川健司
5. 経費 政務活動費を使用
6. 行程 公共交通機関(JR)を使用
7. 研修内容報告・所感



講義1 「人口減少・ポストコロナ社会のデザイン」

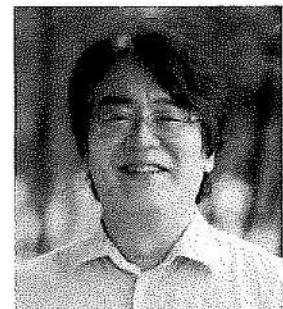
講師：京都大学こころの未来研究センター教授 広井良典 氏

- ・人工ピークは2008年、12,808万人、高齢化率22.1%。
- ・世界幸福度ランキングは、1位デンマーク、日本は43位。
- ・幸せはローカル(地方)からGAH→グロス 荒川 ハピネス →みんなで作る幸せの町



GSH → グロス 新城 ハピネス → みんなで作る幸せのまち新城を目指して

- ・人口減少社会への基本的視点 これまでの流れとは逆の流れや思考が生じる。
- ・若い世代のローカル志向、Uターン・Iターン「今、若者は地方を目指す。」
地元に残りたい → 地元残留率の増加 → 高校生の県外就職率低下。
- ・東京圏への人口流入は横ばいないし微減、転出も微減 → 高齢化の進行。
- ・首都圏の高齢化が進行!
- ・AIを活用した4つの持続可能な日本の未来に向けた政策提言 → 2050の日本を視野に
①人口 ②財政・社会保障 ③地域 ④環境・資源 の各分野
- ・AIによる政策提言① 都市集中シナリオと地方分散シナリオ



- ・ポストコロナ社会のAIシミュレーション → 包括的な意味での分散型社会への移行
- ・分散型社会のイメージ → 消極集中から多極集中へ

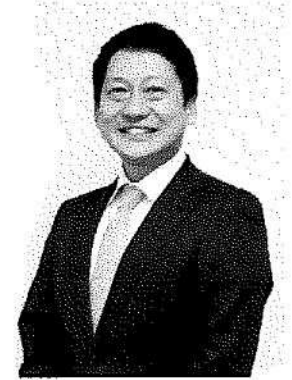
人口減少・ポストコロナを希望に

日本は人口減少・高齢社会のフロントランナー → 持続可能な福祉社会へ

講義2 「コロナ禍のピンチをチャンスに変える自治体になるためには？」

講師：奈良県生駒市 市長 小紫雅史 氏

- ・ピンチをチャンスに①社会面におけるチャンス、
地域活動の大切さを再認識
- ・ピンチをチャンスに②地元の魅力再発見、
地産地消が進む地元の魅力再発見
- ・ピンチをチャンスに③ICTの活用と広がり、
高齢者や自治会活動に変化が
- ・ピンチをチャンスに④現役世代を地域活動に参加してもらう、
地元友達
 - ①～④コミュニティーを超回復、地域に飛び出しチャンスを生かす取り組み
- ・V,M,B → ビジョン、ミッション、バリュー
 - ①自分らしく輝けるステージ
 - ②このまちで暮らす価値を共に作る、ワーク、ライフ、コミュニケーションの融合
 - ③ふるさと愛、人間力、変革精神 → 昨日の常識は今の非常識
- ・V,Mを支える考え方
 - ①自治体3.0のまちづくり → 自治体2.0との違い
 - ②ワーク、ライフ、コミュニケーションの融合 → ベッドタウン→ダイバーシティ
→ 定住意向率向上
- ・先進的取り組み 100の複合型コミュニティーづくりと市民パワー株式会社



※議員の皆さんにお願いしたいこと

- ①地域に飛び出す現場力
- ②具体的提案をする専門性
- ③街づくりのために議員活動、地域愛
- ④市の政策・議会の活動・意義を発信する力

行政のチェック機能は大切、でもそれだけが議員の仕事ではない！

プレイヤーとしての現場経験、専門性高める自己研鑽により、

具体的な提案により、自らまちを変えていく！

一度決まったことについては、発信の先頭に立つ！

講義3 「 これからのスマート農業 ～新しい地域農業の創生～」

講師：北海道大学大学院農学研究員教授 野口 伸 氏



- ・スマート農業の必要性 → 労働力不足が深刻な日本の農業を儲かる産業へ
 - ・期待される効果
 - ①労働力不足の解消
 - ②プロ農家の技術の継承 → 新規就農者の早期育成
 - ③生産の低コスト化
 - ④農産物の品質向上・収量増
 - ⑤プロダクトアウト型からマーケットイン型農業への転換
 - ⑥農業の魅力アップ → 青年層の新規就農促進
 - ・スマート水田農業 → 農業におけるソサエティー5.0を実現
 - ・農業データ連携基盤 (WAGRI) → 経験や勘をデータ化
 - ・農業GIS → 作業適期等を管理
 - ・農作業の自動化・ロボット化
 - レベル①オートステアリング
 - レベル②ロボット農機 (自動走行農機)
 - レベル③遠隔監視、圃場間移動可能なロボット農機
 - ・スマートフードチェーン → 生産、流通、消費をつなげる
 - ・スマートバイオ産業
- ※スマート農業 → スマートアグリシティー → 普及に向けた人材育成が必要！



講義4 「 令和の戦国武将・今、女将が地域とともに立ち上がる 」

講師：さぎの湯温泉旅館 竹葉 女将 小幡美香 氏



- ①さぎの湯温泉、竹葉の立地 → 足立美術館に隣接
- ②『竹葉』女将のコロナ禍、打開策 → 通販、テイクアウト、仕出し弁当
- ③メディア業界さんの協力 → メディアとSNS、YouTube を活用
- ④いかした歴史を活かす → 生きている日本遺産、安来節
- ⑤旅館の経営戦略 → 最新SNSによる先行優位性
インスタグラム、フェイスブック、ツイッター、クラブハウス
- ⑥一番大事にしてきたこと、これから → 日本の和の心、繋がり、ご縁を大事に
日本文化を継承し、地域と共に時代と戦う女の武将
- ⑦市町村議会の皆さんへのメッセージ → 未知なる道を造ってください

最小労力最大効果 → 時間は有限、ご縁は無限

『守』『破』『離』『創』

⑧荷物にならぬ安来節 → 最高の笑顔、低い姿勢、日々是好日



領収書類貼付用紙

研修費 費

現金用

振込金受取書(兼手数料受取書)

13年11月05日

振込先 お振込先 お受取人 お振込先 お受取人 お振込先 お受取人	振込先 お振込先 お受取人 お振込先 お受取人 お振込先 お受取人	店(所)	金額	十萬	百萬	千	円
	お振込先 お受取人 お振込先 お受取人 お振込先 お受取人	お振込先 お受取人 お振込先 お受取人 お振込先 お受取人	お振込先 お受取人 お振込先 お受取人 お振込先 お受取人	お振込先 お受取人 お振込先 お受取人 お振込先 お受取人	お振込先 お受取人 お振込先 お受取人 お振込先 お受取人	お振込先 お受取人 お振込先 お受取人 お振込先 お受取人	お振込先 お受取人 お振込先 お受取人 お振込先 お受取人

現金種別
未決済小切手 枚

貯金額

記算日: 指定日

手数料徴収区分
1:即納 2:後納 9:不要

手数料(税込) 1440

お振込金額のうち決済未確認の小切手は、上記のとおりですが、万一不渡りとなったときは、この振込を取り消し、小切手は、権利保全の手続きをしないで当店において返却します。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

- 振込先金融機関へは、お受取人名のほか貯金額目・口座番号を通知します。お受取人名はカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- この振込金受取書(兼手数料受取書)は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。
- 振込ができない場合は、この手数料のほか、別途手数料がかかる場合がありますのでご了承ください。

取扱店

新城市黒田字秋平野33-
愛知東農業協同組合
八名支店
☎(0536)26-1111

印紙
(200円)
組合員または
振込金+手数料
5万円未満は
非課税

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ならないように貼付する。

令和3年度

第1回

市町村議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議会の議員には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

今回の研修では、地域を元気にするまちづくりをテーマに、様々な分野の第一線でご活躍の方々にご講演いただき、改めて地域を見つめ直すとともに、地方議員に求められる役割について多角的に考えていきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

開催要領

日 程 令和3年4月15日(木)～4月16日(金) (2日間)
場 所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象 市区町村議会議員
 2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。

募集人数 来所による受講 **150人**
 募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。途中退所や一時帰席はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講 **50人**
 オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。
 募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。部分的な受講はできませんのでご注意ください。

宿 泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修)(来所受講のみ) ※外泊はできません。

経 費 来所受講: 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。
6,900円

オンライン受講: **2,000円**

申込期限 令和3年3月19日(金)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法 ◎議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

◎来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、どちらか一つのみお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申し込みください。

※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部**
 〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906
 [e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

4月

15日(木)

11:00~
入寮受付・昼食

13:00~
開講式・日程説明

13:15~14:45
人口減少・ポストコロナ社会のデザイン

京都大学こころの未来研究センター 教授 広井 良典 氏

15:05~16:35
コロナ禍のピンチをチャンスに変える自治体になるためには?
奈良県生駒市 市長 小紫 雅史 氏

17:30~
交流会

令和3年

4月

16日(金)

9:00~10:30
これからのスマート農業～新しい地域農業の創生～

北海道大学大学院農学研究院 教授 野口 伸 氏

10:50~12:20
令和の戦国武将・今、女将が地域と共に立ち上がる

「さぎの湯温泉旅館 竹葉」 女将 小幡 美香 氏

12:20~12:30
閉講・事務連絡

講師紹介

京都大学こころの未来研究センター 教授 広井 良典(ひろい よしのり)氏

1961年、岡山市生まれ。東京大学教養学部卒業、同大学院修士課程修了後、厚生省勤務、千葉大学法政経学部教授をへて2016年より現職。この間、2001-02年MIT(マサチューセッツ工科大学)客員研究員。専攻は公共政策及び科学哲学。

『日本の社会保障』(岩波新書、1999年)でエコノミスト賞、『コミュニティを問いなおす』(ちくま新書、2009年)で大仏次郎論壇賞受賞。他の著書に『定常型社会 新しい「豊かさ」の構想』(岩波新書、2001年)、『ポスト資本主義 科学・人間・社会の未来』(同、2015年)、『人口減少社会のデザイン』(東洋経済新報社、2019年)など多数。この間、教育再生懇談会委員、内閣府・幸福度に関する研究会委員、国土交通省・国土審議会専門委員、環境省・次期生物多様性国家戦略研究会委員、内閣府・選択する未来2.0懇談会委員等を務める。

奈良県生駒市 市長 小紫 雅史(こむらさき まさし)氏

1974年、兵庫県生まれ。1997年一橋大学法学部卒業。2003年シラキウス大学院行政経営学部修了。1997年環境庁(現環境省)入庁。ハイブリッド自動車の税制優遇、廃棄物処理法・容器包装リサイクル法の改正や、事業者との環境自主協定制度(エコ・ファースト)の創設などに尽力。2011年退職(大臣官房秘書課課長補佐)。2011年8月、全国公募により生駒市副市長に就任。2015年4月、生駒市長に就任(現在2期目)。前立命館大学客員講師。NPO法人プロジェクトK(新しい顔々関を創る若手の会)創設メンバーで元副代表理事。

北海道大学大学院農学研究院 教授 野口 伸(のぐち のぼる)氏

1961年、北海道生まれ。1980年北海道大学に入学、農学部に進学して農業工学を学ぶ。1987年同大学院農学研究科農業工学専攻修士課程、1990年博士課程修了後、北海道大学農学部助手に採用される。1997年同大学院農学研究科助教授、2004年教授に就任する。2016年10月から2019年3月まで内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第1期「次世代農林水産業創造技術」プログラムディレクターを務めた。SIP第2期「スマートバイオ産業・農業基盤技術」ではプログラムディレクター代理を務める。専門は農業ロボットなどのスマート農業。2018年刊行の池井戸潤著『下町ロケット ヤタガラス』に協力し、テレビドラマ化には技術監修として協力した。

島根県安来市「さぎの湯温泉旅館 竹葉」 女将 小幡 美香(おばた みか)氏

1970年、島根県松江市生まれ。1989年島根県立松江南高等学校卒業。1991年広島県尾道市立短期大学経済科卒業。1991年から1996年農林水産業組織の全国金融機関、農林中央金庫松江支店7年勤務。結婚出産を機に退職。

1996年から島根県安来市「さぎの湯温泉旅館 竹葉」女将。調理師、クシマクロビオティクス・コンシェルジュ、調酒師、ホスピタリティー・コーディネーター、講演講師、しまね観光PR大使、JR西日本外部広報員「山陰いいもの探偵隊」、安来節どじょうすくい踊り准師範、島根大学アドバイザー「どじょうすくい女将」島根県の伝統芸能「安来節どじょうすくい踊り」と地域の個性を合わせて情報発信。CM出演、メディア出演多数。SNSを利活用した地域地方創生や地域活性化、集客法ほか、旅館のおもてなし、ホスピタリティについて島根県のPRを重ね全国で講演活動中。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

研修報告書

令和3年6月30日

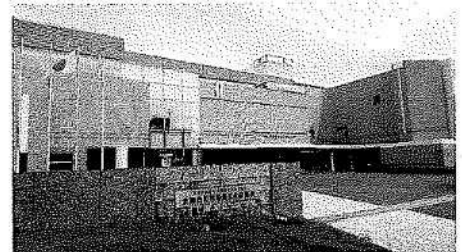
新城市議会議長 様

滝川健司



以下、研修に参加しましたので報告致します。

1. 研修日 令和3年4月22日(木)～23日(金)
2. 研修場所 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号)
3. 研修内容 令和3年度 市町村議会議員研修(同日)「議員と防災の役割」
日程及び詳細は別紙による
4. 派遣員 滝川健司
5. 経費 政務活動費を使用
6. 行程 公共交通機関(JR)を使用
7. 研修内容報告・所感



地震や集中豪雨等による災害に備え、平時からの防災の心構えや地域での連携の重要性についての講義に加え、演習等の双方向型研修により、現在の防災対策に関連する諸課題について考察する研修です。

講義1 「過去の災害教訓を活かした防災・減災」

講師：名古屋大学減災連携研究センター 教授 福和伸夫 氏

- ・JIAMの事務所の家具が固定されていない！防災研修をやる施設として情けない。口ばかりである。
- ・歴史が示す災害、改元は災害の歴史である。
- ・口永良部島は地震計無しでも死者0、御岳山は気象庁が観測していたが死者63人。
- ・スカイツリーは一番立ててはいけない場所(隅田川の東側)に建設。大震災での死者予測数、西側で死者1万人、東側で死者6万人。
- ・建築基準法は間違いだらけ、違法建築ばかりになるから直せない。
- ・都市の適正人口規模は、200万人まで、それ以上の規模だと一気に被害が拡大する。
- ・地震計による観測網が増えれば自身も増える。
- ・電力の自由化は、災害時ブラックアウトとなり大停電になるリスクが増える。
- ・今後風水害の死者は減少し、地震による死者は増大する可能性あり。
- ・ハザードマップと土地利用の整合性を図ることにより減災を目指す。

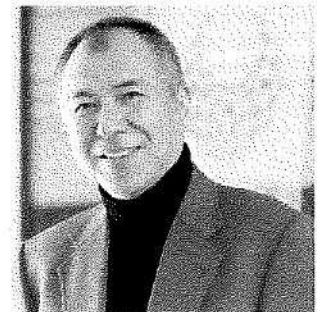


- ・南海トラフ地震による被害214兆円、20年間で1,410兆円の被害となり、日本は最貧国となる。
- ・相互依存する社会を俯瞰せず、不具合に背を向ける現代社会、各分野の専門家はいるが全体を俯瞰できる人がいない。

講義2 「平時の防災と議員の役割」

講師：跡見学園女子大学観光コミュニティ学部

コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏



- ・ある町で幅6m道路に幅4mの橋があり、地震で橋が落ちた。
町は幅6mの橋を造りたい。国は「ダメ！ それは復興で復旧ではない！」 国の支援は復旧まで、現状の幅4mの橋なら支援。すったもんだの交渉の末、幅6mの橋ができた。
- ・ナマハゲは災害ボランティア
- ・防災の正四面体 自助 共助 公助 + 近助
- ・誰が逃げろと伝えたか？ 誰が逃げるのを支援したか？
→ 家族・同居者・近所・友人・福祉関係者
- ・正常化の偏見「自分は大丈夫！」自分にとって都合の悪い情報を無視する人間の特性

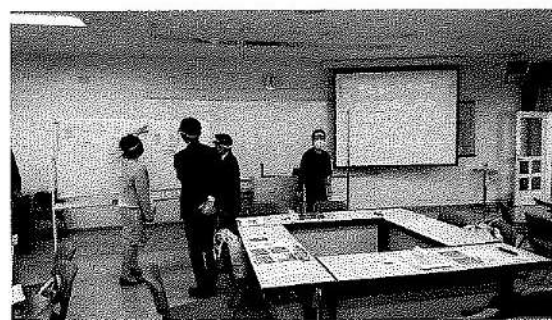
演習1 「平時の防災と議員の役割」～ワークショップ

講師：跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏

防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏

【岩手県大槌町における行政の災害対応～平野総務部長（現町長）に聞く～】

上記の資料に基づき、行政対応の問題点を各自付箋紙に書き出し話し合い発表する。



〈ワークショップ1回目〉 平時の防災について

大災害時に行政が効果的な対応をするために平時にすべきことについて、グループごとに意見を出す。どの班の意見がより多くの支持を集めるか競争をする。以下、多くの支持を得た意見を得点順に抜粋して紹介する。

- ・小学校単位や地区自治会単位で防災訓練を行う。
- ・遺族への対応、職員、住民の心のケア対策。
- ・防災、避難訓練を楽しく。一人でも多くの参加者と低年齢の人も参加したくなる工夫を。
- ・避難所の運営訓練を住民を含めた形で年数回行い、慣れること。
- ・職員に頼らない、職員も被災者という認識が必要。
- ・具体的な防災計画、現実的なBCP計画、手順書の作製、災害時対応想定及びQ&Aの作製。
- ・平時の住民サービスで出来ることと出来ないことを確認周知しておく。

※ちなみに私の所属する班が最多支持を受け、ご褒美の飴玉をいただきました。

事例紹介 「 令和元年東日本台風災害の被災地長野での対応 避難所運営について 」

講師：長野市企画政策部復興局長兼復興推進課長 小池 啓道 氏

- ・避難所運営を支えてくれた言葉

「人間は誰でも間違えることがある。失敗を恐れて何もしないよりも、温かい過ちのほうがいいじゃないか。」

「避難場所の運営に正解はない。人を救うのは、人しかいない。」



- ・避難所運営において大切にしたいこと

信頼を得る。公平より公正。

- ・避難所運営の5つのキー 「 さすけなぶる 」

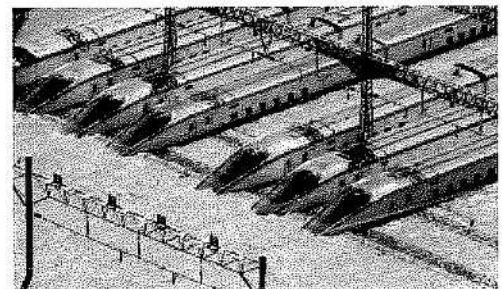
「さ」 さりげなく

「す」 すばやく

「け」 けむたがらず

「な」 ないものねだりはやめて

「ふる」 ふるさとのような



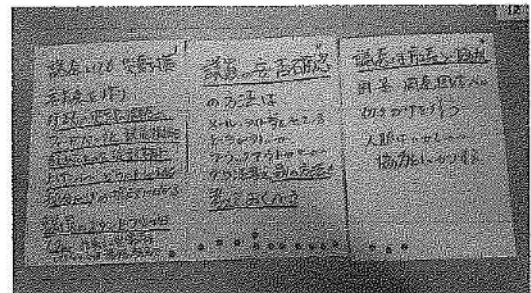
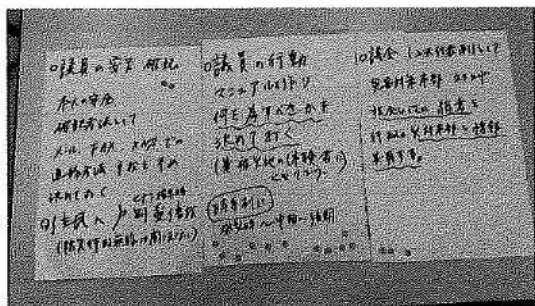
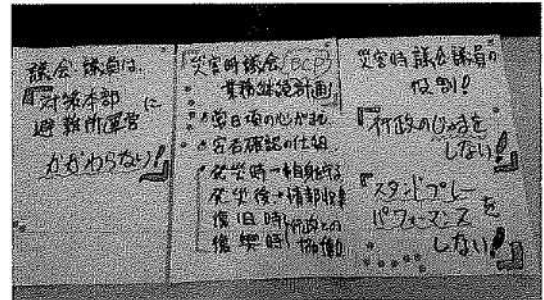
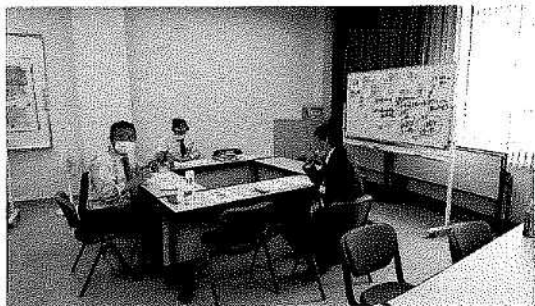
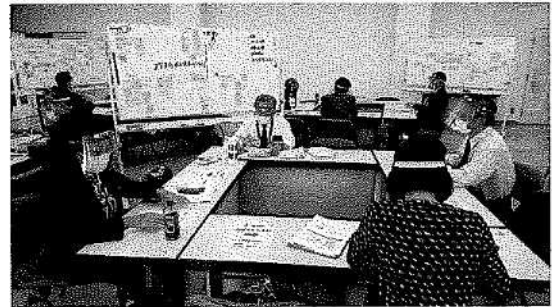
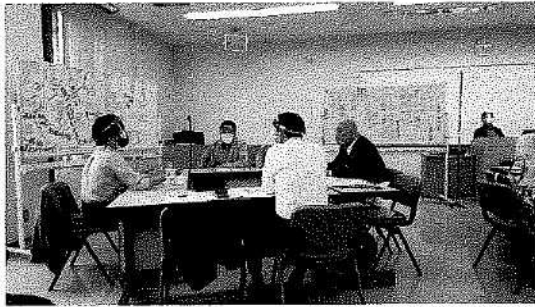
講義・演習 「災害時・復旧・復興期の議員の役割」 「ふりかえりとまとめ」

講師：跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏

防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏 氏

【東日本大震災での東松島市議会議員の行動】

上記資料に基づき、議会・議員の行動の問題点を各自付箋紙に書き出し話し合い発表する。



ワークショップ2回目

復旧復興時における議会議員の役割についてについて、グループごとに意見を出す。どの班の意見がより多くの支持を集めるか競争をする。以下、多くの支持を得た意見を得点順に抜粋して紹介する。

- ・災害時に邪魔な存在にならず、復旧に役立つ議会の仕組みづくりを平時の時に定めておく。
- ・議会運営、議長の役割、議員安否の確認方法、情報の集約、要望事項の集約、情報の一元化による提供。
- ・災害対策本部へのルートを決めておく。

- ・災害時に使える対応マニュアルを用意し、訓練しておく。

【大災害時に議会・議員が効果的な対応をするために】

- ・災害時議会の対応規定を、議会基本条例等で責務を規定しておく。また、議員の行動規定を策定しておく。
- ・災害時、議会がしてはならない事。
 - ①行政に負担をかける議会運営をしてはならない。
 - ②応急対応への批判的質疑、質問。
 - ③災害直後の議会開催。
- ・災害時、議員がすべき事。
 - ①地域の情報収集、提供。
 - ②地域での支援活動。
 - ③行政に代わり視察等の受け入れ。
- ・災害時、議員がしてはならない事。
 - ①行政職員を威嚇、邪魔をしない。
 - ②支援者、後援会への便宜供与・利益誘導。
 - ③行政批判。
 - ④他議員への行動批判。

※事業継続（BC）の目的、組織の人命を守る、重要業務を中断しない、中断した場合は早期に復旧させる。何が何でも事業継続ではない！人々や地域社会に迷惑をかけてはならない！

【災害時の議会・議員の役割のまとめ】

- ① 地域での支援活動、やってはならないことを規定するのも効果的。
- ② 情報収集と災対本部への提供、災対本部の情報を住民に提供、情報発信。
- ③ 視察の受け入れ、行政の負担軽減と外部支援の確保。
- ④ 国や関係機関への要望活動。
- ⑤ 復興計画の策定支援、復興ビジョンの策定。

※これからの防災は、課題解決・損失を減らす防災から「価値創造型」の防災へ！

受講証明書

団 体 名 : 愛知県 新城市

所属・氏名 : 新城市議会 議員 滝川 健司

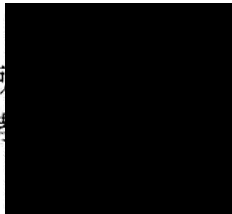
研 修 名 : 令和3年度市町村議会議員研修 [2日間コース]
第1回「防災と議員の役割」

期 間 : 令和3年4月22日(木) ~ 4月23日(金)

上記の研修を受講したことを証明します。

令和3年4月23日

全国市町村国際文化研修所
学 長 藤 原 通 孝



令和3年度

市町村議会議員研修[2日間コース]

第1回「防災と議員の役割」

地震や記録的な豪雨、大型台風などによる自然災害は、毎年のように各地で発生しています。加えて、新型コロナウイルス感染症への対応も求められる今、住民の命と生活を守るため、各地域においては、改めて、日ごろからの防災意識の向上、訓練や備え、助け合える関係づくり、また、行政との緊密な連携が重要となっています。

本研修では、平時・災害発生時・復旧・復興期というそれぞれの段階において、市区町村議会や議員の果たすべき役割について考えます。

開催要領

日程

令和3年4月22日(木)～4月23日(金)(2日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村議会議員の皆様

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。より多くの方に受講していただくため、令和2年度の本研修(令和3年1月7～8日実施)を受講された方はお申し込みいただけません。ご理解をお願いいたします。

募集人数

60人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください(市区及び町村の区分における申込者の人数により、受講者の人数を投分して抽選、決定します)。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

7,550円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和3年3月19日(金)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申し込みください。

※受講申込書は議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

4月

22日(木)

11:00~
入寮受付・昼食

12:30~
開講式・開講オリエンテーション

13:00~14:30
講義 過去の災害教訓を活かした防災・減災

名古屋大学減災連携研究センター 教授 福和 伸夫 氏
国内外で発生した過去の災禍について解説していただくとともに、今後の災害に備えて、議員として、また地域住民として、どのような対策や行動をとることが求められているか、お話しいただきます。

14:45~15:55
講義 平時の防災と議員の役割

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
災害への対応は平時から意識し取り組んでおくことが必要です。この時間では、後半の演習の導入として、平時から議員として取り組むべき役割についてお話しいただきます。

16:10~17:30
演習 平時の防災と議員の役割

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏
講義を踏まえ、平時における議員の役割について、グループに分かれて意見交換を行います。

17:45~
交流会 ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:10
事例紹介 令和元年東日本台風災害の被災地長野での対応
～避難所の運営について～

長野市企画政策部復興局復興推進課 課長 小池 啓道 氏
(コーディネーター)跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
令和元年台風19号の被災地のひとつである長野市において、約2か月間避難所を運営した小池氏から、避難所の様子や住民との関わり、大切にしたことなどをご紹介いただきます。鍵屋氏にはコーディネーターとして、専門的な知見からご意見をいただきます。

10:25~13:35(途中昼食休憩有)
講義・演習 災害時、復旧・復興期の議員の役割

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏
災害時および復旧・復興期における議員の役割についての講義後、グループに分かれて意見交換を行い、議員として何ができるかについて考えます。

13:45~14:45
講義 ふりかえりとまとめ

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏

14:45~15:00
閉講・事務連絡

令和3年

4月

23日(金)

● 第2回目のお知らせ ●

令和3年度は、市町村議会議員研修[2日間コース]第2回「防災と議員の役割」を下記日程で実施いたします。

令和4年1月6日(木)～1月7日(金) ※詳細は、別途10月下旬頃にご案内します。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

研修報告書

令和3年8月30日

新城市議会議長 様

滝川健司



以下、研修に参加しましたので報告致します。

1. 研修日 令和3年7月20日(火)～21日(水)
2. 研修場所 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号)
3. 研修内容 令和3年度 「第2回市町村議会議員特別セミナー」
日程及び詳細は別紙による
4. 派遣員 滝川健司
5. 経費 政務活動費を使用
6. 行程 公共交通機関(JR)を使用
7. 研修内容報告・所感



講義1 「本当の意味での健康滋賀へ」

講師: 滋賀県知事 三日月大造 氏

【健康】

- ・滋賀県平均寿命、男性全国1位(81.78歳) 女性全国4位(87.57歳)
長寿の秘密、健康な生活習慣を持っている人が多い、生活環境も良い。



【コロナによって再認識】

- ・人とひと、人と社会、人と自然、人・社会・自然のつながりの大切さ。
- ・未来へのバトンをつなぐ大切さ。
- ・豊かな自然環境・歴史・文化、健康長寿な県民。

【ポストコロナ社会へ】

- ・3つの健康 → 人の健康、社会の健康、自然の健康。
- ・人の健康 → 健康滋賀ツーリズム、スマイルアクション、
- ・社会の健康 → 近未来技術の社会実装、地域の健康を支える公共交通。
- ・自然の健康 → マザーレイクゴールズ(琵琶湖版のSDGs)
- ・ローカルな循環・共生から幸せを造りたい。ごみは資源、エネルギーでコミュニティー。
- ・県民とのタウンミーティング、次世代会議の開催。

※地域のために、人々の幸せのために、未来ある子供たちのために。

講義2 「改めて議会とは何かを考える 政治学の知見から」

講師：京都大学大学院法学研究科 教授 曾我謙悟 氏



●集合知が生まれるとき、阻害されるとき

他の人の意見を聞きながら答えると、ばらつきが少ない。

答えがわからないところに答えを出す、一つの有効な方法。

多様な人々の考えの平均をとる。コンドルセの陪審定理。多様性が必要、アンカーに引きずられると多様ではなくなる。

●議会での決定＝集合知の探索なのか？

違う、全員の意見を用いないし多数決となる。

●なぜ多数決で決めるのか？

集合知は答えが一つの場合、議会の決定は答えが一つではない。各自が答えを持っている。

集合体（集団）としての決定である。

●そもそも多数決とは何か？

必ずしも過半数でなくてもよい、特別多数。

多くの場合過半数を基準とすること。

過半数で選択肢が二つであれば決定できる。

選択肢が三つの場合過半数では決まらない、相対多数。

決選投票となった場合、戦略接票で結果が変わる。

●うまく決められる時と決められない時

三つの選択肢の選考を活かして決める。

多くの政策課題は、どの程度どちらを選ぶかにより多くの選択肢がある。

●解決策はあるのか？

例えば、環境を重視するか、経済を重視するかにより選択肢が分かれる。

●議会での議論は何のためか？

選考を集約して集団としての結論を得ることの前提。一人ひとり選考を持ち変わらない。

選択肢はあらかじめあり、議論により変わる。

●考えを変えるもの：バイアスからどう逃げれるか？

傾向、偏向、先入観、データ等の偏り、思考や判断に特定の偏りをもたらす思い込み要因、得られる情報が偏っていることによる認識の歪み。

確証バイアス、自分が思っている証拠を探してしまう。ハロー効果。

人はルール違反には敏感。

●選択肢を広げる：集団思考をどう乗り越えるか、多様な選択肢の中で善政競争をする。

●議会が果たしうる様々な役割と可能性、合議制を活かし多様な選択肢意見からベストの結論を導く。

講義3 「人口減少社会における地方自治体の役割」

講師：明治大学政治経済学科 教授 加藤久和 氏



- ・今後50年で人口の1/3が失われるとき、現在の市町村がそのまま続くことはできない。
- ・地域（市町村）だけで解決できる問題は限られている。
- ・人口減は高齢化に伴い、時間と共に地域の内在的な力に限界が来ることも考えるべきである。
- ・目指すべき地方行政の姿 → 地方行政のデジタル化、公共私及び自治体の広域連携。
- ・地方創生で考えるべき視点 → マイナス・サムの社会、若者が主役の長期戦略を。
- ・地方自治体の役割 → フルセット主義からの脱却、広域連携への決断。
- ・多分この10年は慣性のままだでもなんとかなるが、20年後はそうはいかない。
- ・一極集中から多極化へ、そしてコンパクト化へ。
- ・地方の時代から地方中心の時代へ。

コロナ禍により働き方が見直され、密を避け地方への流れが出てきた今こそ、地方中心の時代に向け各自治体が特色ある施策を掲げ成長へと繋げていくかがカギとなる。

講義4 「 SOCIETY 5. 0時代の到来と行政のデジタル化」

講師：東京大学大学院情報学環 教授 越塚 登 氏



- ・デジタル分野の課題 デジタル技術の利活用、デジタル産業
- ・地方自治体のデジタル化とDX、IT情報技術やデジタル技術を導入することが目的ではない。
- ・陥りがちな間違い、変えないためのデジタル化、変えたくない人がいる。
- ・デジタル技術は、それに合った仕事のやり方を巢内と有効に働かない。
- ・自治体行政のデジタル化
 - ①デジタルファースト：個々の手続きサービスが一貫してデジタルで完結する。
 - ②ワンスオンリー：一度提出した情報は、二度提出することを不要とする。
 - ③コネクテッド・ワンストップ：民間サービスを含め、複数の手続き・サービスをワンストップで実現する。
- ・行政手続きのオンライン化
- ・情報システムの共同利用
- ・AI・RPA等による業務効率化 ※上記①～③に向けての取り組むべき課題
- ・オープンデータの活用
- ・ガバナンス強化と人材確保育成
- ・官民データ活用推進計画の策定

令和3年度

第2回

市町村議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議会の議員には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

今回のセミナーでは、「地方行財政」というテーマのもと、各分野でご活躍の先生方から講演をいただき、今後のわがまちの未来と地方議員に求められる役割について多角的に考えていただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

開催要領

日 程

令和3年7月20日(火)～7月21日(水)(2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

来所による受講 **150人**

募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講 **50人**

オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。
募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。部分的な受講はできませんのでご注意ください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)(来所受講のみ) ※外泊はできません。

総 費

来所受講: **6,900円** 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

オンライン受講: **2,000円**

申込期限

令和3年5月31日(月)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

◎議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

◎来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、どちらか一つのみお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申し込みください。

※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

7月

20日(火)

11:00~

入寮受付・昼食

13:00~

開講式・日程説明

13:15~14:45

本当の意味での「健康しが」へ(仮)

滋賀県知事 三日月 大造 氏

15:05~16:35

改めて議会とは何かを考える：政治学の知見から

京都大学大学院法学研究科 教授 曾我 謙悟 氏

17:30~

交流会

令和3年

7月

21日(水)

9:00~10:30

人口減少社会における地方自治体の役割

明治大学政治経済学部 教授 加藤 久和 氏

10:50~12:20

Society5.0時代の到来と行政のデジタル化(仮)

東京大学大学院情報学環 学環長・教授 越塚 登 氏

12:20~12:30

閉講、事務連絡

講師紹介

滋賀県知事 三日月 大造(みかづき たいぞう)氏

1971年生まれ。滋賀県出身。一橋大学経済学部卒業後、西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)に入社。広島支社にて駅員、電車運転士や営業スタッフなどに従事。1999年11月西日本旅客鉄道労働組合(JR西労組(JR連合))中央本部青年女性委員長に就任。2002年4月(財)松下政経塾入塾(第23期生)。2003年11月に衆議院議員(民主党)初当選し、以降4期連続で衆議院議員を務めた。その間、観光・住宅・国土・交通等をテーマとした立法に関わるとともに、2009年9月民主党政権下において国土交通大臣政務官、国土交通副大臣などを歴任。2014年7月滋賀県知事に就任。2018年7月に再選、現在2期目。すべてのひとの「いのち」が等しく守られる「本当の意味での“健康しが”」の創造・発信に取り組む。

力を入れている取組として、子ども・教育(次世代)、琵琶湖保全、農業振興、「やまの健康」などの政策とともに、「死」について真正面から考えることで、限りある「生」をより一層充実させる施策につなげるために「死生懇話会」を開催しているほか、ローカル線[近江鉄道]の維持存続に向けて、沿線市町と一体となって検討・協議を進めている。

京都大学大学院法学研究科 教授 曾我 謙悟(そが けんご)氏

京都大学大学院法学研究科教授。専門は行政学、政治学。1971年 兵庫県西宮市生まれ。1994年 東京大学法学部卒業、同助手。1997年 大阪大学法学部助教授。神戸大学大学院法学研究科教授を経て、2015年より現職。

受賞歴:日本学術振興会賞、日本公共政策学会賞。主な著作に、『日本の地方政府』(中公新書、2019年)、『現代日本の官僚制』(東京大学出版会、2016年)、『行政学』(有斐閣、2013年)など。

明治大学政治経済学部 教授 加藤 久和(かとう ひさかず)氏

1958年東京都生まれ。1981年慶応義塾大学経済学部卒業、1988年筑波大学大学院経営・政策科学研究科修了。2000年博士(経済学)(中央大学)取得。電力中央研究所主任研究員、国立社会保障・人口問題研究所室長などを経て、2005年明治大学政治経済学部助教授、2006年4月より現職。専門分野は、人口経済学、社会保障論、計量経済学。主な著作に『世代間格差—人口減少社会を問いなおす』(筑摩書房、ちくま新書930、2011年)、『女性が活躍する社会の実現』(共編著、中央経済社、2016年)、『8000万人社会の衝撃—地方消滅から日本消滅へ』(祥伝社、祥伝社新書473、2016年)など。

東京大学大学院情報学環 学環長・教授 越塚 登(こしづか のぼる)氏

1966年生まれ。東京大学大学院 理学系研究科 情報科学専攻 博士課程修了、博士(理学)ユビキタス情報社会基盤センター共同統括。東京工業大学助手、東京大学大学院助教授などを経て、2009年より現職。研究テーマはユビキタスコンピューティング、リアルタイムシステムなど。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ


当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

研修費 費

お取扱明細票

いつもご利用いただきありがとうございます。
お取引いただきました明細は、下記のとおりです。

ご利用年月日		取扱金庫/店番/機番通番	
03-07-19		[REDACTED]	
カード発行金融機関/店番		科目/口座番号	
[REDACTED]		[REDACTED]	
お取引金額	お取引金額		
000000000000	¥6,900*		
お取引種別		お取引後残高	
支払い		*****	
手数料	¥440	ペーシ	硬貨
時刻	09:53	おつり	
[REDACTED]			
サ"イ)セ"ソコクツチヨウソツケソツユウサ"イタ "ツセ"様 [REDACTED] タキカワ ケソツ"様 TEL053623-5482			
印紙税申告納 付につき豊橋 税務署承認済		ご利用ありがとう ございました。	

 豊橋信用金庫

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する